

大型クラゲ情報

青森県農林水産部水産局水産振興課
八戸・むつ・鱒ヶ沢水産事務所
青森地方水産業改良普及所
(地独) 青森県産業技術センター
水産総合研究所

大量出現した平成21(2009)年度に比べ少ない状況です。

○日本西方・全国の出現状況

(1) 日本西方の情報(独立行政法人水産総合研究センターとりまとめ、7月18日現在)

大型クラゲモニタリング調査(7月上旬から中旬に実施)において、黄海(済州島北沖～中国青島沖)および東シナ海北部を中心に大型クラゲの出現が認められ、韓国南西沖～済州島北沖では高密度の分布が確認されました。

現時点での出現量は、平成23(2011)年度および平成22年(2010)年度より非常に多いものの、我が国沿岸で大型クラゲが大量出現した平成21年(2009)年度に比べると少ない状況です。

7月16日に石川県七尾沖の定置網に1個(傘径100cm)の入網が確認されています。また、7月17日から22日まで水研センター及び名古屋大学が行った調査では、対馬周辺の複数箇所(各点1～5個体と少量)が確認されています。

(2) 大型クラゲ出現予測について

韓国南西沖～済州島北沖で確認された濃密群は、7月20日前後に対馬海峡を通過し始め、その後も継続して出現する可能性が示されました。

※大型クラゲに関する最新情報が確認できますのでご利用ください。

<http://www.jafic.or.jp/kurage/> (JAFIC)

<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/> ((独)水産総合研究センター)

<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2599> ((地独)青森県産業技術センター水産総合研究所)

